

設立・11年11月(創業
は69年4月)

売上高・非公表

社員数・アルク単体で
215人(15年1月)

末日現在)

販売媒体・ネット、会
報誌など

カタロクから分析 通販会社 調査隊

こともある。そのついでに学習のヒントや目的を示し、受講者のモチベーションを保つことが「マガジンアルク」の一番の役割だ。誌面は異文化情報や国際的な話題を充実させている。受講者は世界に目を向けていくことで学習意欲が増し、アルクとしてもほかの教材や商品の訴求につなげていくことができるという。

通信教育用教材のアルク(本社東京都野田亭社長)は、会報誌「マガジンアルク」を発行している。通信講座は基本的に1人で習うため、つまずきそうになる

会報誌の創刊は83年1月。「CAT」(クロス・



アンド・ト
ークの略)
という名称
で始まり、
03年4月に
「マガジン
アルク」と
なった。
通信講座

の受講者全
員に配布し
ているが、
通信講座を
受講してい
ない人も年
会費648
0円(税込)
で購読でき

中身が読まれる会報誌に

る。購読だけの人も全体の2割強いるという。

「マガジンアルク」は2カ月に1回、ビニールで梱包して表紙が見える状態で会員の手に届く。「捨てられない会報誌を意識している。そのために、企画や表紙のキヤッチは重要視している」(菊地田孝子マガジンアルク編集長と話す。1年ほど前に、ネットでもアンケート調査を行ったところ「会報誌は1〜2割の人しか中身までしっかり読んでいない」との説を聞いたが、その数字を大きく上回る人が読んでくれたいた」(同)と言った。

企画の一つにTOEICのスコアを伸ばした人の道筋を紹介するコーナーがある。使用した教材に他社の書籍名が挙がってもそのまま紹介している。

各国のあらゆる分野で活躍している人物を取り上げるコーナーでは、世界各地にいるライターと協力して人物を選定。読者が「世界に目を向ける」内容を意識している。

英語を学習した後、その

語学力が何に役立つかを示し、その自分をイメージさせることで、モチベーションアップに効果的につながっている。

例えば、東京オリンピックが決まった後は、外国人に英語でガイドをするボランティアになるまでのステップを案内した。このほか、習得した語学力をもって日本語教師をしている人や、ホームティーチャーとして子どもに教えている人なども紹介している。

アルクは企業理念として「地球人ネットワークを創る」を掲げている。相手や世界を知ることためにはコミュニケーションが必須。「マガジンアルク」は今後も世界に目を向ける企画、業界の最新情報、読者のモチベーションをアップさせる手法を追求していく。

カタログデータ

発行元：アルク
創刊：03年4月(会
報誌自体は83年1
月から)
発行頻度：2カ月に
1回
発行部数：4万部強
商品分野：学習教材
構成：A4判、80ペ
ージ(カラー64ペ
ージ、モノクロ16
ページ)

学びとその先の可能性 [MAGAZINE ALK]

マガジンアルク

5-6

